



こんにちは☆夏真っ盛りですね！こう暑いと、クーラーが効いた部屋から出られなくなってしまう。私の部屋は扇風機だけなので、夜寝ていても、扇風機のタイマーが切れると、あまりの暑さに目が覚めてしまいます(-_-;) 何か良い対策を考えねば、今年の夏を乗り越えれそうにありません。

暑いからといって、冷たいものばかりとると、体が冷えてお腹を壊してしまいますし……。難しいですね(~~~)

人間も動物も日射病、熱中症には、くれぐれも気を付けましょう！！

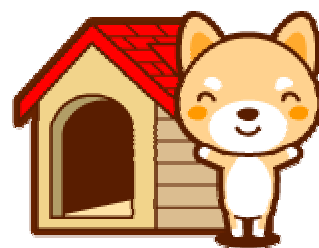


さて、今回のわんにゃん通信は『ズーノーシス』別名『人畜共通伝染病』の1つ“ネコ引っかけ病”です！！

あまり、聞きなれない病気・感染症だと思います。

ズーノーシス(人畜共通伝染病)といえば、狂犬病を思い浮かべる方が多いと思います。ズーノーシスは、狂犬病だけではありません！

そこで、今回はネコ引っかけ病について勉強していきましょう！！



でも、その前にまず、ズーノーシスについて、勉強していきましょう♪

ズーノーシス(人畜共通感染症)とは、脊椎動物と、人との間に死前に移行しうる全ての病気・感染症のことです。

※**脊椎動物**：脊椎を有する全ての生物を指し、哺乳類、鳥類、爬虫類、両性類、および魚類が含まれます。

勉強中です



ネコ引っかけ病



☆感染経路は？

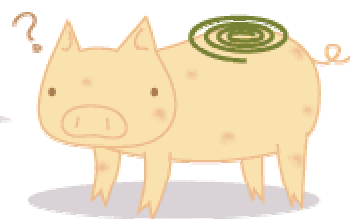
感染源は、病原体を保有する動物にひっかかれる、咬まれる、舐められる事によって、感染します。

特に、仔猫からの感染が多いようです。

☆症状は？

3～10日間の潜伏期間を経て、症状が出てきます。

ちなみに動物は**無症状**です。



☆症状は？(続き)



①全身症状

発熱・食欲低下・倦怠・頭痛・吐き気・関節痛などが認められます。

②受傷部位(引っかかれた、咬まれた、舐められた部位)

感染後3～10日目に、紅斑を伴う、丘疹あるいは、膿疱が出現し、水疱を形成した後、痂皮が形成されます。

一般的に痒みは伴いません。受傷部位の治癒までに、2ヶ月以上かかる例もありますが、受傷の痕跡すら認められない場合もあります。



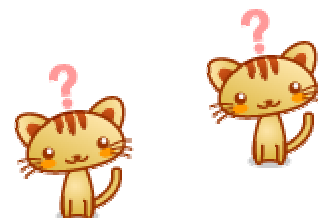
③リンパ節

受傷から1～2週間以内に圧痛、疼痛を伴う腫脹がみられますが、自然に消退することが多いようです。(通常、2～4週間持続しますが、場合によっては、数ヶ月間以上に及ぶこともあります。)



④非定型的症状

まれに、パリノー症候群(眼球運動障害)、急性脳症、骨融解性病変、結節性紅斑、肝・脾臓瘍などを引き起こす場合があります。



☆予防のポイントは？

- ・患者の多くは、**20歳以下で、特に幼児や男性**に多く発生しています。
これは、ネコの扱いが下手なため、引っかかる可能性の高いことが原因であると考えられています。
- ・ネコの扱いに慣れ、**爪を切る**習慣をつけましょう。
- ・ネコ引っかき病の病原体は、**ノミ**によって媒介されている可能性が高い事が知られています。
ノミの駆除を徹底する事も予防に繋がります。
- ・また、咬まれたり、引っかかれたりする事に“慣れっこ”になって“いい加減”な処置で済ませないように注意しましょう。

🐾咬まれたり、引っかかれた場合の処置



1) 創傷部位の確実な洗浄

- ・創面や創内に付着している異物や壊死組織を除去します。

→創傷部位に、土や石・異物、壊死組織等を残しておく、と、感染症の可能性を増大させる結果となります。

2) 汚れがひどい場合、イソジンで消毒

3) 創傷部位が、深い場合きちんと病院に行ってください。

♪リンパ節が腫脹して、医師の診察を受ける際には動物との摂食を申し出る事が大切です。

特に、ネコに接触した時期と、リンパ節が腫脹した時期とが時間的にずれているために、医師がネコとリンパ節腫脹との関連に気づかずに、ネコ引っかき病を疑わない場合があります。

正しい知識を身に付け、楽しい思い出を作りましょう！

今月は
吉村でした☆

